

1995年の想いが、 今日の建物を支えている。

あの日、私たちはすぐに現地に向かうことを決めました。
阪神・淡路大震災。

それは災害への考え方を根底から覆すものでした。
安心とは何か。

もう一度、一から見つめ直さなくてはいいけない。

スタートが地震による揺れを軽減し、

建物だけでなく、人々の生活や事業も守る

「免震技術」を研究してきた原点はここにあります。

あれから27年。

私たちは、様々な土地や建物に導入できる

免震技術を開発し、

いくつもの特許免震工法を生み出してきました。

しかし、どんなに素晴らしい技術も、

普及できなくては意味がない。

スタートは安全性を追求しながらも、

免震工法のコスト低減にも挑戦。

住宅はもちろん、病院や物流倉庫といった

様々な建物に採用されるようになりました。

近年では、歴史的建造物の保全のための

「免震レトロフィット」技術。

CO₂の排出量を削減する

「木造混構造ビル」への免震導入など、

持続可能な社会の実現にも貢献しています。

スタートの免震建物は、現在600棟。

しかし、これはゴールではありません。

1995年の想いをずっと胸に、

建物が社会インフラとして

安全と安心を守る世の中を築きたい。

スタートの挑戦は、まだ始まったばかりです。

免震で、もっと安心を。

